

## 日本リハビリテーション医学会 平成 24 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：平成 24 年 7 月 14 日(土) 12 時～16 時 30 分

場 所：アルカディア市ヶ谷 ア蘇

構成員：理事 20 名，監事 3 名

## 出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博

生駒一憲・石合純夫・石川 誠・川平和美

佐浦隆一・志波直人・白倉賢二・田島文博

芳賀信彦・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

## 議 題

## I. 報 告

## 1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成 24 年度第 3 回，第 4 回業務執行理事会の報告があった。関連して、業務執行理事会を Skype で試験的に行った結果，良好に意見交換ができるので，今後も Skype による会議を行う予定である旨，報告があった。

## 2) 会員現況報告について

才藤副理事長から，会員現況について報告があった。

## 3) 専認構ヒアリング報告

水間理事長から 7 月 3 日専認構で，厚生労働省医政局医事課長他数名，専認構池田理事長他による，専門医の在り方に関する基本領域学会とのヒアリングがあり，才藤副理事長と出席し対応した。主な事項として，①専門医像の確認，②総合診療，③地域安定確保について報告があった。関連して，才藤副理事長から厚生労働省からの情報をダウンロードして是非読んでほしい。また，専認構ヒアリングまとめの「全体への感想」に基づき学会として取り組むべき事項について早急に進める必要がある旨報告があった。

## 4) 50 周年記念事業関係

水間理事長から，「リハビリテーションを考える日」実行委員会による専門医会企画市民公開講座開

催の会議を 7 月 5 日 GSK 本社ビルで，開催した旨説明があった。主な議事として①開催資金の確保について，②後援団体について，③講師依頼について，④共催等について検討を行った旨併せて報告があった。また，50 周年記念式典事業関係資料により，式典，会場・機材見積，レセプションに係る見積の説明があった。

関連して，才藤副理事長から外個人招聘について，既に推薦を受けているが予算の関係でかなり減らされる可能性がある。これまでの企画及び予算案については，予算の見通しがないので，出された企画は白紙の状態である旨，報告があった。また，安保広報委員会担当理事から「リハ医学会設立 50 周年キャッチフレーズの候補案が 3 つ提案されたので，理事会で決議してほしい旨の説明あり，審議の結果，刈谷豊田総合病院 小口和代先生提案の「生きる時を，活かす力。リハビリテーション医学。」とすることが，承認された。

更に，水間理事長から，50 周年記念事業実行委員会委員の交替について説明があり，審議の結果，承認された。

## 5) 脳科学関連学会連合の評議員変更及び評議員会報告

水間理事長から，5 月の役員会で評議員を推薦した後に，評議員を川平理事から里宇先生に変更した旨の説明報告があった。また，7 月開催の第 1 回評議員会の全体報告があった。引き続き，石合理事から第 1 回評議員会報告及び第 1 回運営委員会議事録に基づき，補足説明があった。

## 6) 学会の収支の推移と現状について

出江副理事長から，2005 年から 2011 年までの過去 7 年間の収支予算状況の分析を行った結果，ここ数年赤字収支であり財政状況が厳しい状況である。また，会費収入，事業収入，管理費支出等の収支予算状況から，今後公益社団法人に相応しい事業展開を考える必要がある旨の説明に併せ，今後は，各委員会等からの予算案の提出を少し早めに行い予算案を作成したい。また，各委員会から予算額は未定で良いので実施したい事業計画を事前に申出てい

ただき、十分検討のうえ対応して行く旨の説明があった。

更に、平成 23 年度収支計算書の事業活動収入に掲載すべき受託研究事業収入科目が欠落していたこと、データマネジメント事業費に受託研究事業費の一部及び各種委員会経費から一部支出されたこと等、本来理事会承認を得るべきことを委員会毎の予算執行で行われたことが原因であると考えられ、次年度から見直しを行う予定である旨の報告があった。

## II. 審議事項

### 1) 役員の役割分担および組織の一部改編、幹事(案)について

水間理事長から、各役員の役割分担に併せ、組織図に危機管理委員会(担当副理事長才藤栄一)、事務局幹事(近藤和泉)、第 51 回学術集会幹事(加賀谷齊)を加える旨の提案説明があり、審議の結果、承認された。

関連して、椿原副理事長から、会則集の「各種委員会の業務分担に関する内規」、各種委員会内規の中の「編集委員会内規」、「教育委員会内規」、「倫理委員会に関する内規」及び「研究倫理審査会に関する内規」の改正案の説明があり、現行の各委員会内規の改廃に係る条文が委員会の議決を経て理事会で承認することになっているが、内規の改廃は今後、理事会の承認で決めることにする旨の提案があり、審議の結果、各委員会に持ち帰り検討することとした。なお、各委員会で検討された内規改正案は、会則検討委員会で検討することが、承認された。

### 2) 業務執行理事会からの提案(各委員会担当理事、委員長の役割分担および委員会に関わる事務局職員の業務について)

水間理事長から、①各委員会の担当理事、委員長の役割分担について、②各委員会に関わる事務局職員の業務について提案説明があり、審議の結果、①については、現在各委員会によって役割がまちまちであることから、本提案を各委員会で検討した上で、提案文章を修正することが、承認された。なお、②については、今後提案どおり実施することが、承認された。

### 3) 危機管理委員会委員について

水間理事長から本年 1 月の理事会で危機管理委員会について、今年度から組織図の理事長直轄の委員

会として危機管理委員会を位置付け、担当を才藤副理事長を充てることとし、今後、委員の選任を業務執行理事会に一任いただく旨の説明があり、審議の結果、承認された。関連して、才藤副理事長から危機管理の対応として早急に緊急連名簿の作成、サーバーのバックアップ等、今後の対応について説明があり、審議の結果、承認された。

### 4) 大規模災害リハビリテーション対応マニュアル策定委員会の解散について

生駒理事から、標記委員会は当面の使命を終えたので、解散する旨の説明があり、審議の結果、承認された。

### 5) 関連機器委員会委員の委嘱について

水間理事長から、委員の解職・委嘱について説明があり、審議の結果、承認された。

関連機器委員会委員(24 年 7 月 14 日付)

解職 福田寛二委員 近畿大学医学部

委嘱 江畑公仁男委員 市立横手病院

### 6) システム委員会委員の委嘱について

水間理事長から、標記委員の委嘱について説明があり、審議の結果、承認された。

システム委員会特別委員(24 年 7 月 14 日付)

委嘱 笠井史人 第 50 回学術集会幹事(昭和大学藤が丘リハ病院)

### 7) 医師以外の正会員入会について

上月理事から説明があり、審議の結果、帯刀隆之氏及び堀 秀昭氏は原案どおり承認された。ただし、谷内幸喜氏については、推薦者の藤田正明先生に大阪物療大学保健医療学部について、念のため確認したうえで、承認することとした。

### 8) 賛助会員の入会について

才藤副理事長から、賛助会員入会申込について説明があり審議の結果、10 件すべての入会が承認された。

### 9) 会員の入退会について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 10) 社会保険等委員会関係

石川理事から、内科系学会社会保険連合の報告に併せ、本医学会からの申し出の副代表交代について、内保連規定に基づき、内保連から吉永勝訓先生に副代表を継続願うことの提案があった旨の説明があり、審議の結果、承認された。更に、水落理事か

ら、外保連報告及び、24年度第2回がんのリハビリテーション研修会合同委員会報告があった。関連して、「がんのリハビリテーション研修」における運営委員の選出依頼が同研修運営委員会水間正澄委員長からあり、水落和也理事、辻哲也先生を選出することとした。

11) 研修施設の新規認定について

田島理事から説明があり、審議の結果、原案どおり8施設の認定が承認された。

12) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13) 指導責任者の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり2名の資格更新が承認された。

14) 専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から説明があり、審議の結果、資格喪失者の取扱について再度検討することとした。

15) 生涯教育研修会について

正門理事から、関連学会からの2-eの申請に係る受講料の取扱について説明があり、審議の結果、受講料は各学会に任せることとし、また、本医学会でのランチョンセミナーの取扱について今後教育委員会で検討することが、承認された。

16) 一般医家リハ研修会について

正門理事から、平成24年度研修会を継続して実施するかどうかについて説明があり、審議の結果、継続して実施することが承認された。なお、実施企画の検討に50周年記念事業企画に加えて実施するか併せて、今後検討することとした。

17) 病態別実践リハ研修会について

正門理事から、研修会を実施することにより赤字決算になり、実施の有無について説明があり、審議の結果、日本医師会からの要望事業のため等を考慮し、開催企画を教育委員会で早急に検討することとした。また、2月開催の研修会について、会場の問題及び運営委託をどうするか併せて、検討することとした。

18) 実習研修会について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、補助金を学会から支出しない場合、会費をいくらにするか教育委員会で検討することとした。

19) 細則(2)-g項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

21) がんのリハビリテーションガイドライン草案の検討依頼について

生駒理事から、標記草案に対する検討依頼について説明があり、審議の結果、承認された。

22) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### Ⅲ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成24年3月11日から平成24年7月9日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

|                                  |      |
|----------------------------------|------|
| ① 編集委員会                          | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会                       | 志波理事 |
| ③ 教育委員会                          | 正門理事 |
| ④ 資格認定委員会・<br>施設認定委員会合同委員会       | 浅見理事 |
| ⑤ 試験委員会・資格認定委員会・<br>施設認定委員会合同委員会 | 浅見理事 |
| ⑥ 診療ガイドライン委員会                    | 生駒理事 |
| ⑦ 関連機器委員会                        | 朝貝理事 |
| ⑧ 国際委員会                          | 佐浦理事 |
| ⑨ システム委員会                        | 赤居理事 |

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から、専門医会幹事会報告、専門医会臨時総会報告、痙縮SIG掲示板新規作成について、小児リハSIG世話人会報告、専門医会選挙管理委員会報告、痙縮SIG第1回会合報告、女性専門医ネットワーク委員会報告、第7回RJN懇親会報告及びRJN委員会活動報告があった。

3) 細則(2)-g項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

4) 平成 24 年度女子医学生、研修医等をサポートするための会の開催について

菊地専門医会幹事長から報告があった。

5) 日本障害者協議会協議員の交替について

水間理事長から協議員交替の報告があった。

新協議員：椿原彰夫副理事長、才藤栄一副理事長

6) 平成 24 年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

才藤副理事長から推薦依頼があった。なお、委員の兼務は原則 2 つまでとし、若手会員の推薦をお願いしたい旨説明があった。

7) 東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体第 11 回戦略会議

水間理事長から 10 団体研修事業を実施する旨報告があった。

8) 平成 24 年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）の国庫補助協議の結果について

才藤副理事長から、補助金の採択通知があった旨の報告があった。

9) その他

①日本静脈経腸栄養学会との合同企画について

水間理事長から、本医学会、日本理学療法士協会、JSPEN の三団体が合同で開催することについて要望があった旨の報告があり、了承された。

②平成 24 年度理事会日程の変更について

才藤副理事長から、平成 25 年 3 月 16 日の理事会日程は都合により、平成 25 年 3 月 23 日に変更して開始したい旨の提案があり、了承された。なお、後日会場及び会議日程等を連絡することとした。

以 上

## 日本リハビリテーション医学会 平成 24 年度第 5 回理事会 議事録

日 時：平成 24 年 9 月 15 日（土） 12 時 30 分～16 時 50 分

場 所：都市センターホテル 7F 701

構成員：理事 20 名、監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・浅見豊子・安保雅博・生駒一憲  
石合純夫・石川 誠・上月正博・佐浦隆一  
志波直人・白倉賢二・田島文博・芳賀信彦  
正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

50 回学術集会幹事／川手信行

51 回学術集会幹事／加賀谷斉

欠席者

理 事／朝貝芳美・川平和美

議 題

### I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、8 月開催の業務執行理事会（Skype 会議）及び 8 月開催の業務執行理事会の報

告があった。

2) 会員現況報告について

才藤副理事長から、会員現況について報告があった。

3) 50 周年記念事業関係

水間理事長から、50 周年記念事業企画案の進捗状況の報告に併せ、現在までに提案されていた企画案の内「関東地方会 HP を活用したリハのアピールおよびリハ医リクルート」の企画については、安保、芳賀の両理事に、「海外リハ交流医受入制度で来日したアジアのリハ医たち」の企画については、佐浦、志波の両理事に、「小児リハ関連歴史」（高取先生講演）については、50 周年記念誌企画として赤居理事に進めていただく旨の説明があり承認された。

更に、50 周年記念事業への新たな企画案があればこれから提案していただきたい旨の説明があった。また、一般医家のための研修会企画が企画案から外れている点については確認したうえ担当の正門理事と実施について検討することとなった。

次に才藤副理事長から、リハビリテーション公開講座（50 周年関連事業の新規企画）を 11 月 3 日に名古屋で開催すること及び協賛について説明があり、審議の結果、承認された。

更に水間理事長から、①海外招聘者案について、



オーストラリアの John Olver 先生を追加したい旨の提案があった。②記念式典・祝賀会について、招待者等の案を次回報告する予定である。③50周年記念事業費の予算を来年度500万円計上したい。④50周年記念事業及び第50回学会集の予算を併せて予算措置を講ずる。ただし会計処理上は別々に行う旨の説明があり、審議の結果、承認された。

## II. 審議事項

### 1) 平成24年度後期各種委員会委員について

水間理事長から説明があり、審議の結果、承認された。

### 2) 委員会に副委員長設置について

水間理事長から、委員会に副委員長を必要に応じて置くことができるよう常置部会・委員会に関する規則の一部改正(案)について説明があり、審議の結果、承認された。

### 3) 危機管理委員会関係

才藤副理事長から、危機管理委員会委員、緊急連絡網(案)、災害時対応のための事務局業務マニュアル(主要業務のみ)及び緊急連絡名簿の説明があり、審議の結果、承認された。なお、緊急連絡名簿を近日中に送信することとした。

### 4) OT・PT養成施設等教員講習会運営委員の交替について

水間理事長から説明があり、審議の結果、承認された。

### 5) リハビリテーション医学用語集第8版の出版について

志波理事から説明があり、審議の結果、本医学会として出版物を発行する場合、統一した方法を取るため業務執行理事会メンバーに関係者を加えて検討し、年度内に結論を出すことが承認された。

### 6) 会誌投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの改定及び英文版(案)

川平編集委員会担当理事に変わり、生駒理事から説明があり、審議の結果、審議事項5)の出版関係との兼ね合いで、川平担当理事の出席の下で審議することとした。

### 7) 会誌のオープン化について

川平編集委員会担当理事に変わり、生駒理事から説明があったが、審議事項5)、6)との兼ね合いで審議することとした。

### 8) 海外研修助成(追加分)候補者(案)について

佐浦理事から説明があり、審議の結果、承認された。

### 9) 東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体への拠出金について

水間理事長から説明があり、今回の資料はまだ決定されない拠出金額の一覧表である旨の説明があり、次回の会議に出席して確認するとの説明があった。また、里宇明元前理事長が関連10団体に出席いただく立場が明確でないため本医学会震災対応特別委員として出席していただく旨の提案があり承認された。

### 10) 賛助会員の入会について

才藤副理事長から、賛助会員入会申込について説明があり審議の結果、3件すべての入会が承認された。

### 11) 会員の入退会について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 12) 社会保険等委員会関係

石川理事から、内保連委員長に石川誠理事(社会保険等委員会担当理事)が就任することになった旨報告があった。水落理事から、外保連実務委員会報告及び平成24年度診療報酬・介護報酬改定アンケート結果について報告があった。

### 13) 専門医認定試験の実施に関する申し合わせの一部改正(案)について

白倉理事から説明があり、審議の結果、今年度は既に公示し現行どおり実施することとした。ただし、申し合わせの一部改正については、次回改めて検討すること

で承認された。

### 14) 24年度専門医試験特別委員候補(案)について

白倉理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 15) 専門医試験(筆記)・臨床認定医試験について

芳賀理事から説明があり、臨床認定医試験の問題に関する広告については、試験委員会の審議結果どおり学会誌で広告することが承認された。また、学会誌に専門医試験問題及び解答を公開すること、来年度学会集で試験問題作成ワークショップを開催する予定である旨報告があった。

### 16) 研修施設関係(新規認定・資格更新)

田島理事から新規認定8施設及び資格喪失1施設

- について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 17) 指導責任者関係（新規認定・資格更新）  
浅見理事から新規認定6施設及び資格更新2名について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 18) 認定臨床医の資格辞退について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、対応2案が承認された。関連して、認定臨床医の生涯教育及び資格更新に関する内規の一部改正案及び申し合わせの一部改正案について説明があり、審議の結果、内規の第2条第3項を一部修正のうえ承認された。
- 19) 専門医・認定臨床医の資格更新について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、資格更新3名及び資格喪失者214名が承認された。なお、資格更新者への連絡についての文案等を検討することとした。
- 20) 専門医制度整備指針に対応する検討結果について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、今後専門医制評価・認定機構の新しい専門医制度の全体像や今後の議論を基に検討をするため、業務執行理事に浅見、田島、石合の各理事を加え対応することが承認された。
- 21) 初期研修医向けの研修・説明会の立ち上げについて  
石合理事から説明があり、審議の結果、来年度実施することが承認された。関連して、事業計画として予算案を提出することが承認された。
- 22) 医療倫理安全研修について  
正門理事から説明があり、審議の結果、学術集会、専門医学術集会時に実施することが承認された。
- 23) 病態別研修会、一般医家研修会の運営委託について  
正門理事から、研修会運営を外部委託していたが、経費削減のため事務局に移行して実施する旨の説明があり、審議の結果、承認された。
- 24) 細則(2)-e項目による生涯教育研修単位の申請について  
石合理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 25) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 26) 新規実習研修会の申請について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 27) 2013年度単位付与項目について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 28) 年次・専門医会学術集会の教育講演について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 29) 細則(2)-gの講師資格について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 30) 補装具意見書作成・身体障害者手帳診断書作成 Web アンケート案  
水落理事から説明があり、審議の結果、意見があれば2週間以内に水落理事に連絡することとし、実施することが承認された。
- 31) がんのリハビリテーションガイドライン出版契約書について  
生駒理事から説明があり、審議の結果、がんのリハビリテーションガイドライン出版については承認することとし、契約の取り交わしについては、審議事項5)、6)と同様出版物全体と併せて今後検討することとした。
- 32) 2012.9.9九州地方会幹事より保険査定についての報告と要望  
志波理事から説明があり、審議の結果、学会として今のところ対応しないこととした。
- 33) その他  
①後援・協賛について  
才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。  
②出江副理事長から、来年度（平成25年度）各種委員会事業計画の内、新規企画で予算額の多い事項について、近日中事業計画申請書を送信するので、提出願いたい。なお、11月下旬に例年どおり各委員会の活動計画並びに予算調書の提出について依頼をする旨併せて説明があった。  
③水間理事長から運動器の10年・日本協会の平成24年度会費50万円の納入依頼があった旨説明があり、審議の結果、承認された。  
④(株)アサツーディ・ケイからの寄附金申込について  
水間理事長からアサツーディ・ケイから寄附金の

申込があった旨説明があり、受入について了承された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1) 各種委員会報告

平成 24 年 7 月 13 日から平成 24 年 9 月 10 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

- |               |         |
|---------------|---------|
| ① 編集委員会       |         |
| ② 評価・用語委員会    | 志波理事    |
| ③ 教育委員会       | 正門理事    |
| ④ 資格認定委員会     | 浅見理事    |
| ⑤ 施設認定委員会     | 田島理事    |
| ⑥ 試験委員会       | 芳賀・白倉理事 |
| ⑦ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事    |
| ⑧ 障害保健福祉委員会   | 水落理事    |
| ⑨ 関連専門職委員会    |         |

- |                |      |
|----------------|------|
| ⑩ 広報委員会        | 安保理事 |
| ⑪ 国際委員会        | 佐浦理事 |
| ⑫ データマネジメント委員会 | 赤居理事 |
| ⑬ システム委員会      | 赤居理事 |

#### 2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から、リハビリテーション科女性専門医ネットワーク (RJN) の報告があった。

#### 3) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

#### 4) その他

##### ①平成 24 年度第 8 回理事会日程及び会場の変更について

水間理事長から平成 25 年 3 月 16 日の理事会日程は都合により、平成 25 年 3 月 23 日に変更して、フクラシア品川で開催する旨報告があった。

以 上

---

## 日本リハビリテーション医学会 平成 24 年度第 6 回理事会 議事録

日 時：平成 24 年 11 月 24 日 (土) 12 時～17 時

場 所：都市センターホテル 7F 701

構成員：理事 20 名、監事 3 名

### 出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・浅見豊子・安保雅博・生駒一憲  
石合純夫・石川 誠・川平和美・上正博  
佐浦隆一・志波直人・白倉賢二・田島文博  
芳賀信彦・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

49 回学術集会会長／蜂須賀研二

50 回学術集会幹事／川手信行

### 欠席者

理 事／朝貝芳美

### 議 題

#### Ⅰ. 報 告

##### 1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、10 月開催の業務執行理事会 (Skype 会議) 及び 11 月開催の業務執行理事会の報告があった。

##### 2) 会員現況報告について

才藤副理事長から、会員現況について報告があった。

##### 3) 50 周年記念事業関係

水間理事長から、第 13 回設立 50 周年記念事業実行委員会で①式典・祝賀会について、②設立 50 周年記念招待者について、③ 50 周年記念事業費の執行状況について、今年度の残額を 50 周年事業費として積立てることと、来年度についても 5 百万円程度の積み立てができるよう予算措置をする旨の説明があった。④学会資料アーカイブ化について説明報告があった。

関連して、生駒理事から診療ガイドライン委員会より出版予定の出版物に 50 周年記念の冠を付けることについて発言があり、検討の結果、了承された。

##### 4) 東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体総合戦略会議報告

水間理事長から、9 月開催の戦略会議でコーディネーター人材育成のため各団体から 1 研修会につき 5 万円及び事務局運営費 3 万 2 千円の拠出金が見込まれる旨の報告があった。

## 5) その他

### ①来年度（平成 25 年度）各種委員会事業計画申請について

出江副理事長から、新しい試みで平成 25 年度各種委員会の主な事業申請を提出いただき、各委員会の横の連絡を取りながら進めていただく事項もあり、非常に参考になったので、これから提出依頼する例年の各委員会活動計画並びに予算調書に反映するようしたい旨の報告があった。

### ②倫理委員会、研究倫理審査委員会委員の委嘱について

水間理事長から倫理委員会委員及び研究倫理審査委員会委員委嘱について説明の後、椿原副理事長から次の委員候補者報告があった。

○倫理委員会委員：朝貝芳美、富永俊克、川手信行、富田豊の各委員

○倫理審査委員会委員：朝貝芳美、富永俊克、川手信行、富田豊、山内繁、白井幹郎の各委員

### ③リハ医療 5 団体会議報告

石川理事から、本規約は 6 年前に作成されたもので、11 月の 5 団体会議で規約の改正に併せ加入機関の見直しが検討された旨報告があった。関連して、水落理事から加入機関に看護協会を加入の方向で検討願いたい旨発言があった。

### ④脳卒中合同ガイドライン委員会

水間理事長から、脳卒中合同ガイドライン委員会が一般社団法人に移行することに伴う一般正味財産の残額については脳卒中学会での管理となる。また、本医学会の関わりは従来どおりである。関連して、脳卒中合同ガイドライン委員会小川彰委員長から脳卒中治療ガイドライン作成に係る本医学会からの代表者推薦の依頼があり、出江副理事長を推薦することとした旨報告があった。

### ⑤日本臨床神経生理学会

水間理事長から、配布資料に基づき一般社団法人日本臨床神経生理学会脳刺激法に関する委員会宇川義一委員長からの臨床応用についての注意喚起があった旨報告があり、検討の結果、この文書が来ている旨広報することとした。

### ⑥岐阜地検

水間理事長から岐阜中央病院の「研修施設変更届」について、岐阜地方検察庁から提出されている変更届の捜査関係事項照会があった件について、提

出文書を保管している旨の回答する旨報告があった。

## Ⅱ. 重要審議事項

### 1) 平成 24 年度中間収支決算について

出江副理事長から説明があり、審議の結果、承認された。

### 2) 第 49 回学術集会収支決算について

蜂須賀第 49 回学術集会長から説明があり、審議の結果、承認された。

## Ⅲ. 審議事項

### 1) 第 50 回学術集会予算書(案)について

川手第 50 回学術集会幹事から、第 50 回学術集会収支予算案を現在最終調整中で、従来より参加費を若干値上げする方向で進めている。なお、予算案を 1 月の役員会に提案する予定である旨報告があり、了承された。

### 2) 常置部会・委員会に関する規則の一部改正(案)について

水間理事長から、標記規則の一部改正案は会則検討委員会で検討され、特に原案に修正がなかった旨の説明があり、審議の結果、承認された。

### 3) 各委員会内規の改正(案)について

椿原副理事長から、内規改正案の説明があり、審議の結果、各委員会等で更に条文の検討をしていただいた上で、再度役員会に提案することが、承認された。

### 4) 専門医会幹事選出について

近藤和泉専門医会幹事長に代わり、椿原副理事長から、幹事候補者 10 名の説明があり、審議の結果、承認された。また、理事会終了後投票数、投票率、各候補者の得票数をホームページ等で公表することとした。

### 5) 「選挙の在り方に関する検討委員会」の今後の在り方について

水間理事長から、先に設置された選挙の在り方に関する検討委員会は廃止し、今後学会全体の選挙の在り方について、会則検討委員会に検討を依頼することについて提案があり、審議の結果、承認された。

### 6) 特別委員会設置について（専門医制度対応委員会、刊行物の在り方検討委員会）

水間理事長から、専門医制度対応委員会（仮称）及び刊行物の在り方検討委員会（仮称）を設置した旨提案があり、審議の結果、承認された。なお、構



成員は当日配布の資料のとおり、承認され、当日役員会終了後打合せを行い、次回は第1回委員会開催として運営することとした。

○専門医制度対策委員会構成委員：

水間理事長、椿原副理事長、才藤副理事長、出江副理事長、浅見資格認定委員会担当理事、田島施設認定委員会担当理事、正門教育委員会担当理事、石合教育委員会担当理事、芳賀試験委員会担当理事、白倉試験委員会担当理事、近藤専門医会幹事長

○学会刊行物の在り方検討委員会構成委員：

水間理事長、椿原副理事長、才藤副理事長、出江副理事長、川平編集委員会担当理事、道免編集委員会委員、生駒診療ガイドライン委員会担当理事、安保広報委員会担当理事

7) 専門医会女性専門医ネットワーク委員会委員の増員について

浅見理事から説明があり、審議の結果、承認された。

○新規委員 山口朋子 福井県立病院リハビリテーション科

8) リハビリテーション医学用語集第8版の出版について

志波理事から説明があり、審議の結果、今後の進め方については、本日設置された刊行物の在り方検討委員会の検討を待って進めることとした。

9) 編集委員会関係

①会誌投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの改訂(案)について

川平理事から説明があり、審議の結果、申し合わせの投稿規定(13)掲載料について、非会員が筆頭者の場合5千円とするを1万2千円とすることに修正の上、承認された。

②会誌投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの英文版(案)について

川平理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

③会誌投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの別刷について

川平理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

④会誌のオープン化について

川平理事から、会誌のオープン化の説明があった。

10) 専門医認定試験の実施に関する申し合わせの一部改正(案)について

白倉理事から説明があり、審議の結果、本申し合わせの改正は行わず従来どおり運用することが承認された。

11) 医師以外の正会員入会について

上月理事から説明があり、審議の結果、島谷康司氏、野村卓生氏及び鄭丞媛氏の3名を原案どおり承認された。

12) 賛助会員の入会について

才藤副理事長から、賛助会員入会申込について説明があり審議の結果、1件の入会が承認された。

13) 会員の入退会について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

14) 社会保険等委員会関係

石川理事から、内保連の代表・副代表会議、運営会議及び例会の旨報告があった。水落理事から、外保連処置委員会及び麻酔委員会報告があった。また、がんのリハビリテーション研修会運営委員会報告に併せ、同運営委員会で、運営委員会定款について協議が行われ、委員長・副委員長を選出した学協会から2名の推薦を3名以内に修正されたため、本医学会から社会保険等委員会の小山照幸委員を推薦する旨の提案があり、審議の結果、承認された。併せて、社会保険等委員会の報告があった。

15) 認定臨床医(終身)推薦について

浅見理事から、前回理事会に提案の際、資格を必要としないリストの中に本医学会に貢献した人もいる等も含めて推薦をどうするか資格認定員会で検討を行ったが、本日理事会で審議いただきたい旨の説明があった。引き続き、水間理事長から前回の理事会意見を基に袖山公認会計士との相談を踏まえ、業務執行理事会で検討の結果、会員歴20年以上の者を提案することとした旨の説明があり、審議の結果、理事会での終身推薦基準を本医学会入会歴20年以上の者を70歳から終身にすることが承認された。

16) 施設認定委員会関係

①新規認定について

田島理事から新規認定施設9件の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②更新年次報告による認定要件確認結果(案)について  
田島理事から、適格 519 施設、不適格 10 施設、  
査定保留 2 施設 計 532 施設について説明があり、  
審議の結果、原案どおり承認された。

17) 資格認定委員会関係

①指導責任者新規認定について

浅見理事から新規認定 13 施設について説明があり、  
審議の結果、原案どおり承認された。

18) 細則 (2)-fg 項目の申請短縮化について

正門理事から説明があり、審議の結果、承認された。

19) 平成 25 年度専門医受験支援講座の開催について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり  
承認された。

20) 平成 25 年度病態別実践リハビリテーション医学  
研修会開催について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり  
承認された。

21) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会  
開催計画(案)について

正門理事から説明の後、水間理事長から本事業を  
継続する旨の発言があり、審議の結果、承認された。

22) 医療倫理安全研修について

正門理事から説明があり、審議の結果、今後受講  
カード方式及び事務処理上のシステムの変更を進め  
ることが、承認された。

23) 指導医研修会について

正門理事から本内規を作成したい旨の説明があり、  
今後正式な内規を立案する方向で進めることと  
した。

24) 初期研修医等向けの研修説明会について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり  
承認された。

25) 平成 25 年度医学セミナーについて

石合理事から説明があり、審議の結果、ポスター  
の作成及び広報の方法等を教育委員会で検討するこ  
とが、承認された。

26) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請に  
ついて

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり  
承認された。

27) ISPRM 関係

才藤副理事長から、アトランタで開催の ISPRM

には参加することができなかったことに併せ、2012  
年ナショナルメンバーの会費 2,500 ユーロを支払っ  
た旨報告があった。

28) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案  
どおり承認された。

## Ⅳ. 報告事項

### 1) 各種委員会報告

平成 24 年 8 月 19 日から平成 24 年 11 月 18 日ま  
での間に開催された各種委員会について、次の通り  
各担当理事から報告が行われた。

|                |         |
|----------------|---------|
| ① 編集委員会        | 川平理事    |
| ② 評価・用語委員会     | 志波理事    |
| ③ 教育委員会        | 正門・石合理事 |
| ④ 資格認定委員会      | 浅見理事    |
| ⑤ 施設認定委員会      | 田島理事    |
| ⑥ 試験委員会        | 芳賀・白倉理事 |
| ⑦ 診療ガイドライン委員会  | 生駒理事    |
| ⑧ 障害保健福祉委員会    | 水落理事    |
| ⑨ 広報委員会        | 安保理事    |
| ⑩ 国際委員会        | 佐浦理事    |
| ⑪ データマネジメント委員会 | 赤居理事    |
| ⑫ システム委員会      | 赤居理事    |

### 2) 専門医会報告

近藤和泉専門医会幹事長に代わり、椿原副理事長  
から、専門医会幹事会報告に併せ専門医会副幹事長  
に大串 幹、笠井史人の両先生が指名された旨の報  
告があった。関連して、専門医会幹事選挙の今後の  
在り方について、幹事会での検討結果を踏まえて学  
会全体の選挙の在り方について、会則検討委員会で  
検討することとした。

### 3) 病態別実践リハビリテーション医学研修会報告

正門理事から報告があった。

### 4) DVD 販売状況について

正門理事から報告があった。

### 5) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請 について

正門理事から報告があった。

以 上